

⑨日本国特許庁(JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報(U)

昭54-47016

⑫Int. Cl.¹

識別記号

⑬日本分類

庁内整理番号

⑭公開 昭和54年(1979)4月2日

H 02 K 23/36

55 A 23

7052-5H

H 02 K 3/14

55 A 21

6728-5H

55 A 01

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑮複整流子形直流機

番地の1 三菱電機株式会社神戸製作所内

⑯実 願 昭52-120705

⑰出 願 人 三菱電機株式会社

⑱出 願 昭52(1977)9月7日

東京都千代田区丸の内二丁目2

⑲考 案 者 中西悠二

番3号

神戸市兵庫区和田崎町3丁目10

⑳代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

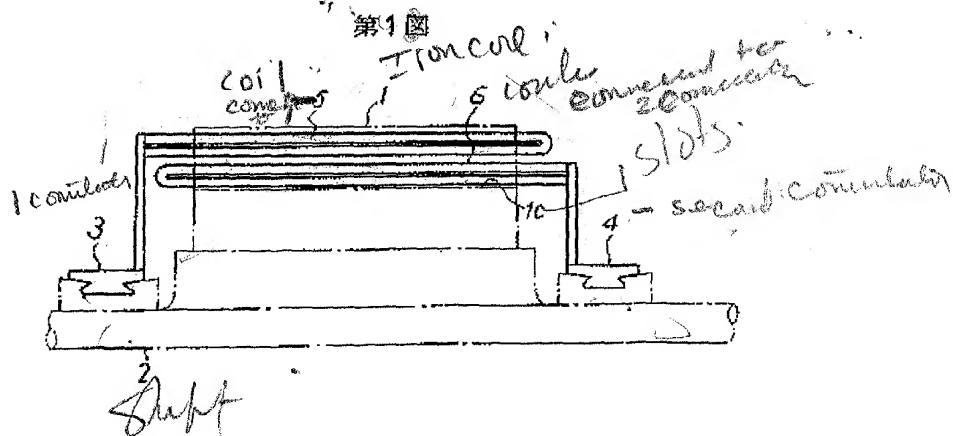
㉑実用新案登録請求の範囲

軸方向の中間部に設けた空所部を隔てた第1及び第2の鉄心部よりなる電機子鉄心、上記第2の鉄心部ではスロット内の中間位置を占め、上記空所部で転位されて上記第1の鉄心部ではスロット内の上、下位置を占めて接続端部が第1の整流子に接続された第1の電機子コイル、上記第1の鉄心部ではスロット内の中間位置を占め、上記空所部で転位されて上記第2の鉄心部ではスロット内の上、下位置を占めて接続端部が第2の整流子に接続された第2の電機子コイルを備えたことを特徴とする複整流子形直流機。

図面の簡単な説明

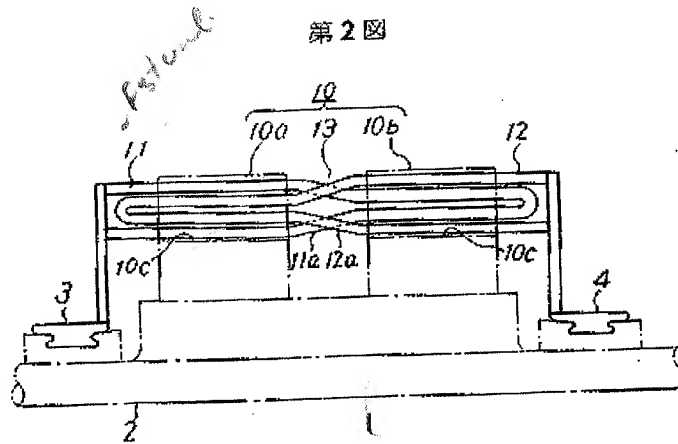
第1図は従来の複整流子形直流機の電機子の概要を示す縦断面図、第2図はこの考案の一実施例による複整流子形直流機の電機子の概要を示す縦断面図、第3図及び第4図は第2図の電機子コイルの異つた転位法を示す転位部の斜視図である。

3……第1の整流子、4……第2の整流子、10……電機子鉄心、10a……第1の鉄心部、10b……第2の鉄心部、10c……スロット、11……第1の電機子コイル、12……第2の電機子コイル、13は空所部。なお、図中同一符号は同一又は相当部分を示す。

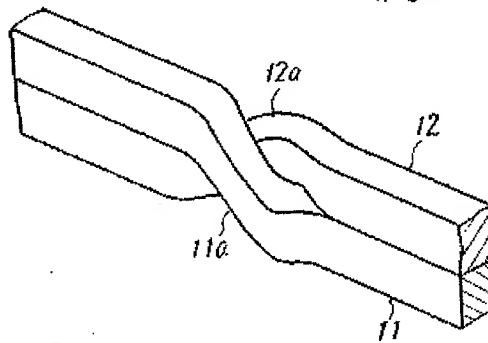


実開 昭 5 4 - 4 7 0 1 6 (2)

第 2 図



第 3 図



第 4 図

